

# 令和2年度 第8回金谷区地域協議会

## 次 第

日時：令和2年11月25日(水)午後6時～  
会場：福祉交流プラザ2階 第1会議室

### 1 開 会

### 2 議題等の確認

### 3 報告

- (1) 上越地区における広域最終処分場の整備に向けた候補地検討委員会の進捗状況等について

### 4 議題

- (1) 自主的審議事項「金谷区の防災機能強化」について
- (2) 令和2年度地域活動支援事業 審査・採択等の振り返り
- (3) その他

### 5 事務連絡

### 6 閉 会

令和2年11月25日（水）

# 上越地区における広域最終処分場の整備に向けた 候補地検討委員会の進捗状況等について

（金谷区地域協議会説明資料）

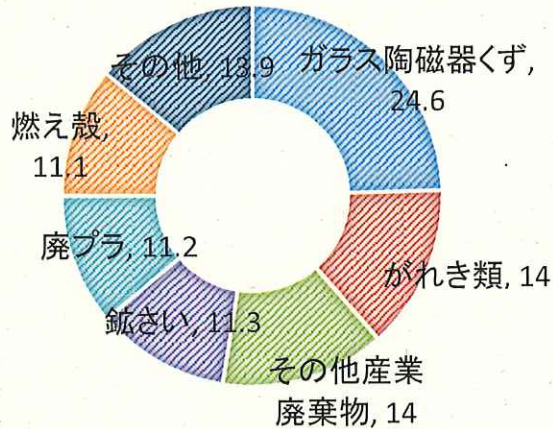


新潟県県民生活・環境部廃棄物対策課

## 産業廃棄物は事業活動に伴い発生しています

- 産業廃棄物は建設現場、製造工場、農業など様々な場所から発生します
- 排出された廃棄物は、破碎や焼却など処理されてリサイクルされるものがほとんどですが、どうしても最終処分しなければならないものがあります

種類別最終処分量  
年間最終処分量  
16万6千トン

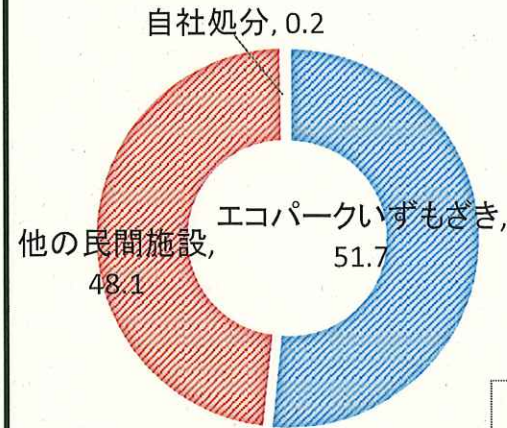


- 県内に産業廃棄物最終処分場がないと、処理費用が高額になり県内産業の競争力低下につながります

## 最終処分場は県内の産業を下支えする大切な施設です

- 産業廃棄物の処理は排出事業者の責任とされていますが、民間の整備が進んでいません
- 安定的な処分容量の確保のために、県は上中下越に公共関与による広域最終処分場の整備が図られるよう取組を進めています

- 現在、県内の産業廃棄物の大半が「エコパークいずもざき」で処分されています



エコパークいずもざき

上越市の一般廃棄物、震災や豪雨に伴う災害廃棄物も受け入れています



# 候補地検討委員会における選定作業の経緯

## 第1次選定

### 【1次選定項目】

1. 処分場の立地が困難と考えられる場所（立地回避区域）を除外

- ・ 国定公園
- ・ 自然環境保全地域
- ・ 砂防指定地
- ・ 地すべり防止区域
- ・ 活断層付近
- ・ 浸水想定区域
- ・ 水道水源保護地域から1km以内の場所など 計13項目

2. 立地回避区域以外の場所から処分場の立地が可能と考えられる場所を選定

- ① 約10ha以上の敷地が確保できる  
※ 住宅や事業所、一団の農地、トンネル等がある場所は除く
- ② 沢地形や平地が含まれる
- ③ 既存道路から2km以内の場所

**46か所を選定**

## 第2次選定

### 【2次選定項目】

#### ①環境条件

- ・ 希少動植物
- ・ 上越市レッドデータブックの重要な地域
- ・ 民家等からの距離

#### ②地形・道路等条件

- ・ 地形の状況
- ・ 積雪の状況
- ・ 運搬効率

#### ③法的規制等の手続

- ・ 立地回避区域
- ・ 農用地区域
- ・ その他の規制区域

**20か所を選定**

### 【公募】

#### ①応募要件

- ・ 上越市内の土地であること
- ・ 概ね5ha以上の面積を確保できる見込みであること

#### ②応募できる方

- ・ 応募地の全部又は一部を所有している方
- ・ 応募地の所在する町内会の長

**旧上越市から2件**

## 第3次選定

### 【3次選定項目】

#### ①環境条件

- ・ 下流域の利水状況
- ・ 生活環境への影響
- ・ 自然環境への影響
- ・ 沿道への影響

#### ②建設条件

- ・ 法規制による指定状況等
- ・ 地形の状況
- ・ 用水・電力の確保
- ・ 土地所有者の状況

#### ③運搬条件

- ・ 運搬効率
- ・ 搬入道路の整備
- ・ 積雪の状況

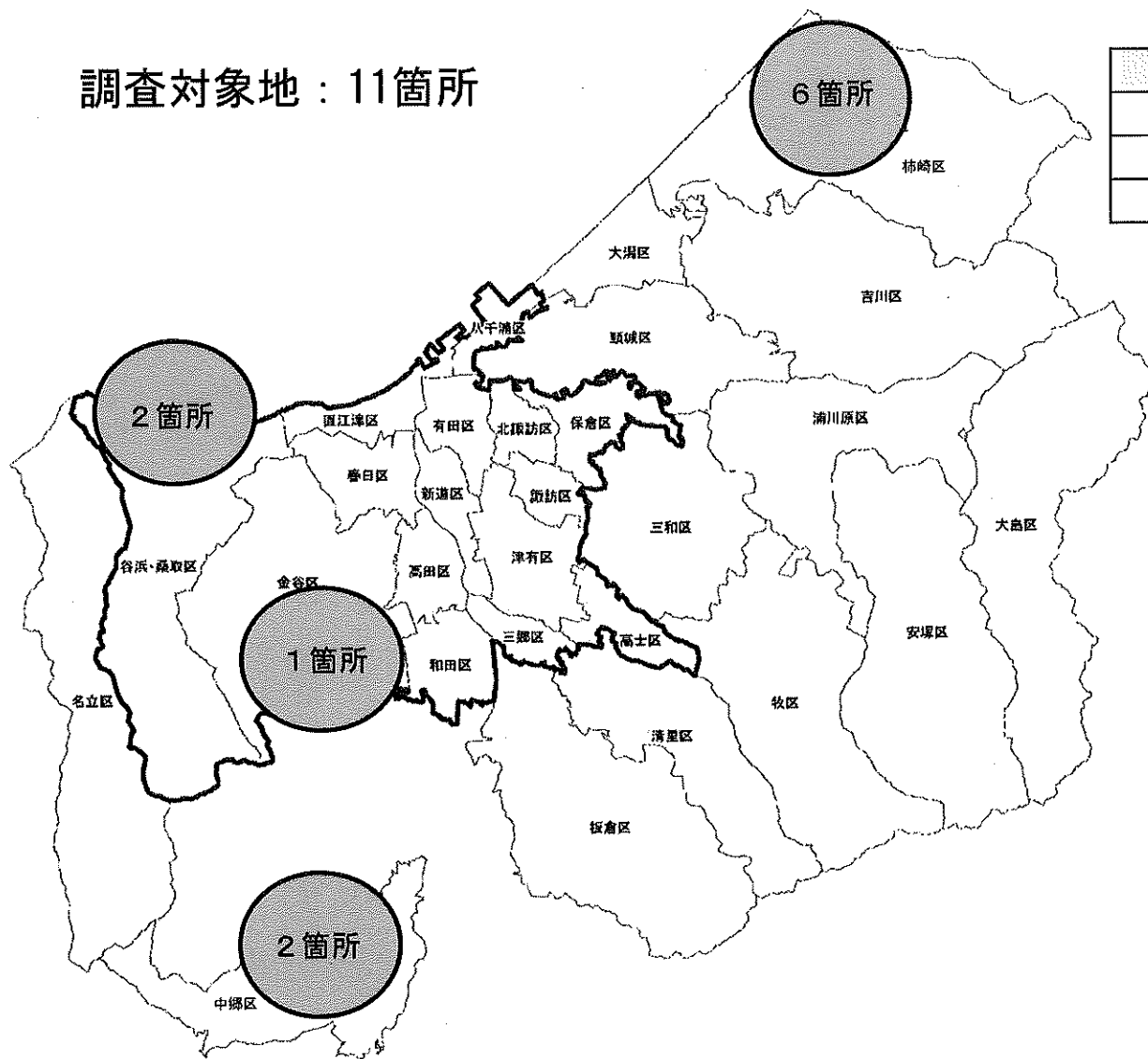
**11か所を選定**



# 3次選定結果

資料3-1

調査対象地：11箇所



自治区名	調査対象地の数
旧上越市	3
柿崎区	6
中郷区	2

※ 合併前の上越市を、「旧上越市」と表記。

## < 3次選定項目 >

- ・環境条件
  - 下流域の利水状況
  - 生活環境への影響
  - 自然環境への影響
  - 沿道への影響
- ・建設条件
  - 法規制による指定状況等
  - 地形の状況
  - 用水・電力の確保
  - 土地所有者の状況
- ・運搬条件
  - 運搬効率
  - 搬入道路の整備
  - 積雪の状況

# 整備候補地選定に向けた今後の予定

## 候補地検討委員会 第4次選定

### 【4次選定項目】

#### 1. 現地状況（現地調査）

- ・土地利用の状況
- ・道路の状況
- ・地形・地質の状況
- ・植生の状況
- ・その他

#### 2. 3次選定までの項目の再評価

- ① 環境条件
- ② 建設条件
- ③ 運搬条件

#### 3. 概略設計計画案

#### 4. 概算事業費案

### 3～5か所を選定

※具体的な候補地の場所は  
この段階で公表予定

令和3年2月頃開催予定

## 最終候補地の選定

- 選定された候補地への地元説明
- エコパークいずもざきの見学会

県が建設予定地を決定  
令和3年度以降

## 自主的審議事項「金谷区の防災機能強化について」

概要	地域の課題・問題点 (意見・要望含む)	課題解決に向けた地域協議会 の取組(案)	第7回会議(10/28) グループ協議で出た意見	左記の具体的な取組内容 (案)
<p>○概要</p> <p>近年、全国で頻発する自然災害の発生状況を踏まえ、災害に対する日ごろの備えが重要であると感じている。いざという時の地域住民の安全・安心を図るため、地域における避難所の設備等の充実や自助・共助による防災意識の向上など、金谷区における防災機能の強化について検討するもの</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常電源は各避難所に数台は必要。停電による灯の確保の他、スマホ電源の確保は必須</li> <li>・水・食料・ミルク等はもちろん、介護用品・生理用品等もある程度の備蓄が必要</li> <li>・社会的弱者等やプライベートの保護への配慮が必要。仕切りや段ボールベッドの充実が必要</li> <li>・ライフライン確保は最も重要。そこにあるものを活用するという考え方が必要</li> <li>・避難所の利用の仕方について、地域住民によく理解されていない</li> <li>・初動職員が派遣されない避難所について、どのような対応をするか検討する必要がある</li> </ul>	<p><b>金谷区内の市の避難所の備蓄品・設備等の充実</b></p> <p>(1)市の避難所の現状把握 (2)市の担当課との意見交換 (3)避難所の装備に関する協議(非常電源の確保、ホームセンター等との非常時提携の促進)</p> <p><b>金谷区内の避難所の備蓄品・装備等の充実</b></p> <p>(1)地域の避難所の現状把握 (2)地域への提案事項の協議(防災士の育成、地域活動支援事業の活用、金谷地区振興協議会による意見交換会、必要備品や計画の検討)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄品等の数はどういう災害でどのくらい滞在することを想定しているのか(数の根拠)</li> <li>・備蓄品は管理のことも考えると、ただ増やせばいいというものではない</li> <li>・避難者2割の想定は適当か(コロナによる収容人数の減)</li> <li>・避難所における市の職員の体制はどうなっているのか</li> <li>・避難所について、関係者と市とのイメージのずれがあるように感じる</li> <li>・避難所に関するマニュアルがいくつもあると思うので、それを全部教えてほしい</li> <li>・弱者(要支援者)の情報について、介護事業者との連携がない</li> <li>・避難所で指示を出せる防災士の育成が必要になってくるのではないか</li> <li>・市の担当課や地域の避難所運営に関わる人たちが、今不安に思っていること、地域に対して逆にバックアップして欲しいことがあるかもしれない</li> <li>・災害時に地域協議会に求めることは何か</li> </ul>	<p><b>1. 市の避難所に関する現状把握</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の担当課から説明を聞き、理解を深める。(聞きたい内容)</li> <li>①備蓄品の種類や数に対する市の考え方について</li> <li>②避難所における市の職員の体制について</li> <li>③新型コロナへの対応について</li> </ul> <p><b>2. 地域の避難所に関する現状把握</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会と地域の避難所や避難体制について意見交換を行い、現状を把握する。(対象)</li> <li><b>※全町内か、一部町内か</b>(意見交換の内容)</li> <li>①地域の避難所の備蓄品について</li> <li>②町内における避難体制について(避難弱者への支援含む)</li> <li>③町内における防災士の育成等について</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会や自主防災組織の役割だけでは限界がある。まず、自助・共助の防災意識の徹底を</li> </ul>	<p><b>各町内における自主防災組織の充実</b></p> <p>(1)各町内の自主防災組織の現状把握 (2)各町内の自主防災組織との意見交換</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いざという時、本当にマニュアルどおりに円滑に事が進むか不安。全てを行政任せにせず、地域でできることは地域でやるべき</li> </ul>	<p><b>3. 自主防災組織に関する現状把握</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各町内の自主防災組織や防災士から話を聞き、課題等を把握する。(対象)</li> <li><b>※全町内か、一部町内か</b>(意見交換の内容)</li> <li>①各組織における活動に関する課題</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全な避難の仕方について、地域住民によく理解されていない</li> <li>・個人の防災意識を高める必要がある</li> </ul>	<p><b>地域住民の防災意識の向上と適切な避難行動</b></p> <p>(1)現在、防災に取り組んでいる全団体による連携したシミュレーションの実施、その上で必要なもの・ことの洗い出し、専門家の指導を受け、さらに検討を重ねた上で整備計画を作成する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金谷区内で防災について取り組んでいる団体の現状が分かれば連携できることがあるかもしれない</li> <li>・自分の町内における役割などを、各個人できちんと把握すべき</li> </ul>	<p><b>4. 防災意識の向上と適切な避難行動について</b> (地域協議会での取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記の現状を把握した上で、地域協議会として取り組めることを検討する。</li> </ul>



《募集要項》

**A** 募集期間について

No.	意見内容	提案者
①	従来通り。連休前後をどう扱うか。	小林委員
②	2週間程度でよいと思う。	高橋敏光委員

**B** 採択方針について

No.	意見内容	提案者
①	内容はよいと思うが、表現上のことで「マンパワーにより」という語句にやや違和感がある。「マンパワー」はビジネス場面などで用いられ「人的資源」という意味だと思われるので、ここにはそぐわないのではないかと。「地域住民が自主的、主体的に取り組む事業のうち…」としてはどうか。	平良木委員

**C** 優先採択事業について

No.	意見内容	提案者
①	基本審査があるので必要事項は基本審査に含んで審査すべきではないか。	石野委員
②	地域の資源を活用して地域コミュニティを作ることは良い取組だと思う。	大瀧委員
③	再編対象のヨーデル金谷をどう扱うか。	小林委員
④	文化財の歴史的価値を住民が継承することは大事だが、器を修繕するのに価値があるか疑問。	高橋敏光委員

**D** 対象外事業について

No.	意見内容	提案者
①	・制服の購入は大会等に参加したことで地域活動に参加したと言えそうかもしれないが、こういうものを認めていたらきりが無い。本来制服は保護者の範囲だと思う。上手に申請したものだけが得をするようですっきりしない。 ・文化財の修復は、修繕以外に活動の実態が見られないと思う。そもそも文化財に手を出すべきでないと思う。悪い例を作ったと思う。	石川委員
②	本来市が直接担当すべき事業を地域活動に任せていると感じることがある（学校関係）。	大瀧委員

**D** 対象外事業について（左ページからの続き）

No.	意見内容	提案者
③	・①「物品の購入」の言葉の重み。 ・《ここがポイント！2》は各区により記載内容・表現に自由度があるのか。各区における採択方針・審査基準の差異が顕在化しており、市全体としてのバランスを疑問視する声もあるが、各区の判断に一任するというのがはっきりとしているのであれば、そのような方向性を明記しても良いかと思う。	小林委員
④	ボランティア活動以外のスポーツ、ダンス、音楽活動で個人の持ち物となる道具、ユニフォーム等の購入は対象外で。	高橋敏光委員

**E** 審査基準について

No.	意見内容	提案者
①	・基本審査、優先採択審査が分かりにくい。これは窓口である事務局で判断してほしい。委員がその場で判断するよりはるかに効率的で確実性が高いと思う。 ・①公益性②必要性③実現性⑤発展性、全てのいくつかに疑問符がつく。じっくり考える材料を持ち合わせていない。適当に点数を付けるしかない。あまりに無責任な気がする。出来たらこういう審査はしたくない。	石川委員
②	今までにないような提案がある場合は、検討が必要なのではないかと。	川住副会長
③	優先採択である意味は。	小林委員

**F** 補助金額設定について

No.	意見内容	提案者
①	1件の上限金額を設定してもよいと思う。	小林委員
②	下限は5万円、上限は150万円でよいと思う（不足分は年度計画で）。	高橋敏光委員

《自己評価票》

G 自己評価票

No.	意見内容	提案者
①	都合のいいことしか書かないので、あまり意味がないと思う。必要なか。	石川委員
②	評価の視点・項目を簡潔に書けるように少なくしてほしい。	大瀧委員
③	審査の際に参考となるので、この文書の提出は継続してほしい。ただ、提案者は「いかに適合しているか」をアピールする立場で書いているので、審査の際は客観的に読み解くよう心がけたい。	平良木委員

《審査・採択の基本的なルールについて》

H 審査の基本的なルールについて

No.	意見内容	提案者
①	少し易しくしてほしい。	大瀧委員
②	・本来、所属団体の事業審査からは外れるべきかと思う。 ・プレゼンのスキルに差が大きく、限られた時間なので、何らかの対策が必要。 ・優先採択である意味を点数に反映させるべきか。	小林委員

I 採択の基本的なルールについて

No.	意見内容	提案者
①	平均点以上で採択ルールについて平均点以下になった場合は委員による協議を持って採択の是非及び減額・附帯事項等にて最終採択是非を決める。	石野委員

《地域活動支援事業 審査・採点シートについて》

J 地域活動支援事業 審査・採点シートについて

No.	意見内容	提案者
①	審査の配点を少し簡単にしてほしい。	大瀧委員
②	・最終プレゼン資料との整合性を図りたい。 ・基本審査の地域活動支援事業の目的との合致。判定基準の「地域の課題解決」と「地域の活力向上」はANDなのか、ORでもよいのか。「地域住民の自発的・主体的活動」はMUSTだろう。	小林委員

《その他意見》

No.	意見内容	提案者
①	・事業提案書とは別に、簡素なプレゼン資料を1枚にまとめ、審査・採点シートとの整合性を持たせてほしい。※事業提案書の読み上げは必要ない。時間を意見交換など有効に使いたい。 ◇事業名： ◇提案者： ◇目的 1. 地域の問題・課題＝ 2. 提案する解決策＝ } これを明確にすべき ◇これまでの支援事業実績： ◇今後のビジョン： ◇個別の質問回答 プレゼンの前に、委員が事業提案書を読み、質問事項・見たい資料などを事務局に提出。提案者はプレゼンの際に回答し、必要な資料を提示する。	小林委員

## 令和 2 年度地域協議会 活動報告会（案）

- 1 開催日時 令和 3 年 2 月 24 日（水）18：30～
  
- 2 会 場 福祉交流プラザ 2 階第 1 会議室
  
- 3 内 容
  - （1）令和 2 年度地域協議会の活動報告
  
  - （2）令和 2 年度地域活動支援事業の活動報告  
（今年度採択された 11 団体から、活動状況を報告）
  
  - （3）令和 3 年度地域活動支援事業の概要説明
  
- 4 周 知 地域協議会だより 1 月 25 日号で案内